

綾瀨市市民満足度調査

概要版

令和5年1月

綾瀨市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査の内容	1
3 注意事項	1
4 回答者の基本属性	2
II 調査結果概要（満足度・重要度）	4
1 取組に対する満足度について	4
2 取組の重要度について	8
3 重要度と満足度のクロス分析	10
III 調査結果（市民意識）	13
1 居留意識	13
2 定留意識	16
IV 調査結果の考察	19

I 調査の概要

1 調査目的

『綾瀬市総合計画2030』に掲げた15の戦略プロジェクトが展開される中で、各行政サービス・取組に対する市民の意見を把握し、その結果を今後の進行管理の基礎資料とすることで、事業再編や予算編成に役立て、市政運営に活用する。

2 調査の内容

この調査は、綾瀬市が重点的に実施している35の施策について調査項目を設定した。各施策の概要（現在実施している取組における一部の具体事業）を示し、各施策についての「満足度」と「重要度」について調査を実施した。

綾瀬市総合計画2030の始動（令和3年度）に伴い、これまでに実施してきた調査と施策名は異なるが、前回調査と比較が行えるよう、施策ごとに紐づけて実施した。

- (1) 調査地域 / 綾瀬市全域
- (2) 対象者 / 満18以上の市民
- (3) 標本数 / 3,000人
- (4) 抽出方法 / 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 / 郵送配布・郵送及びWebの併用回収
- (6) 調査期間 / 令和4年7月16日（土）から8月12日（金）
- (7) 調査機関 / 株式会社総合企画
- (8) 回収結果

発送数(a)	有効回答数(b)	有効回収率 (b) / (a)
3,000票	1,212票*	40.4%

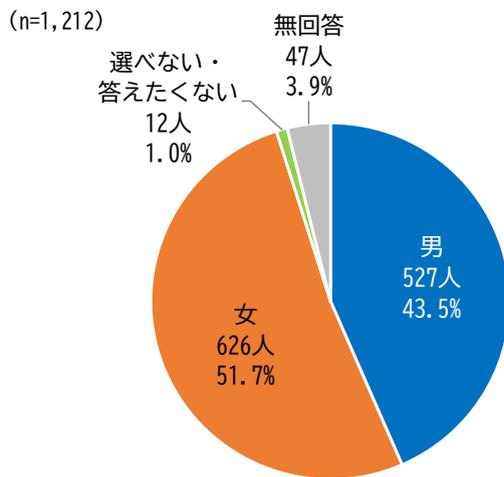
※有効回答数のうち、Webによる回答は342票

3 注意事項

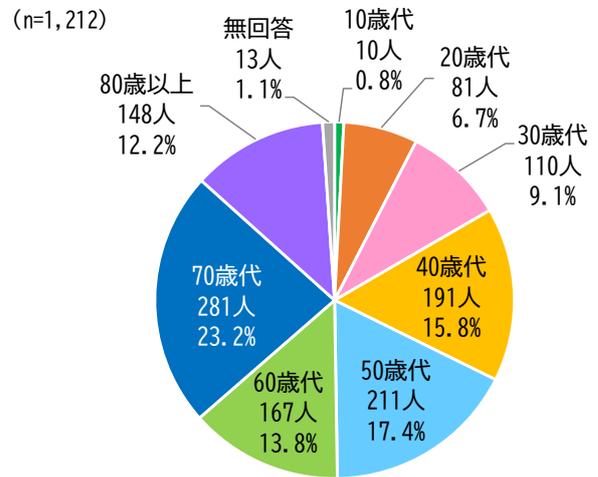
- ① 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。
- ② 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- ③ 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- ④ 年代別の分析では、10歳代の回答数が少ないため、10歳代と20歳代を合計して分析している。

4 回答者の基本属性

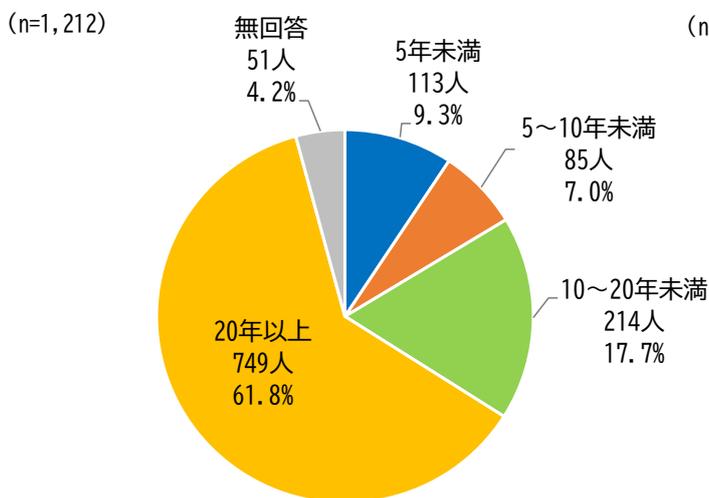
【性別】



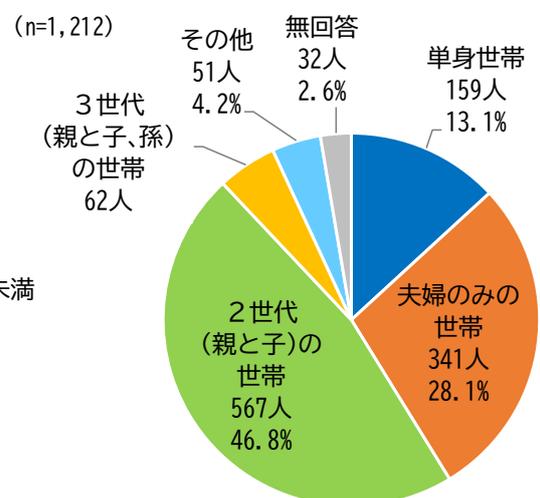
【年齢】



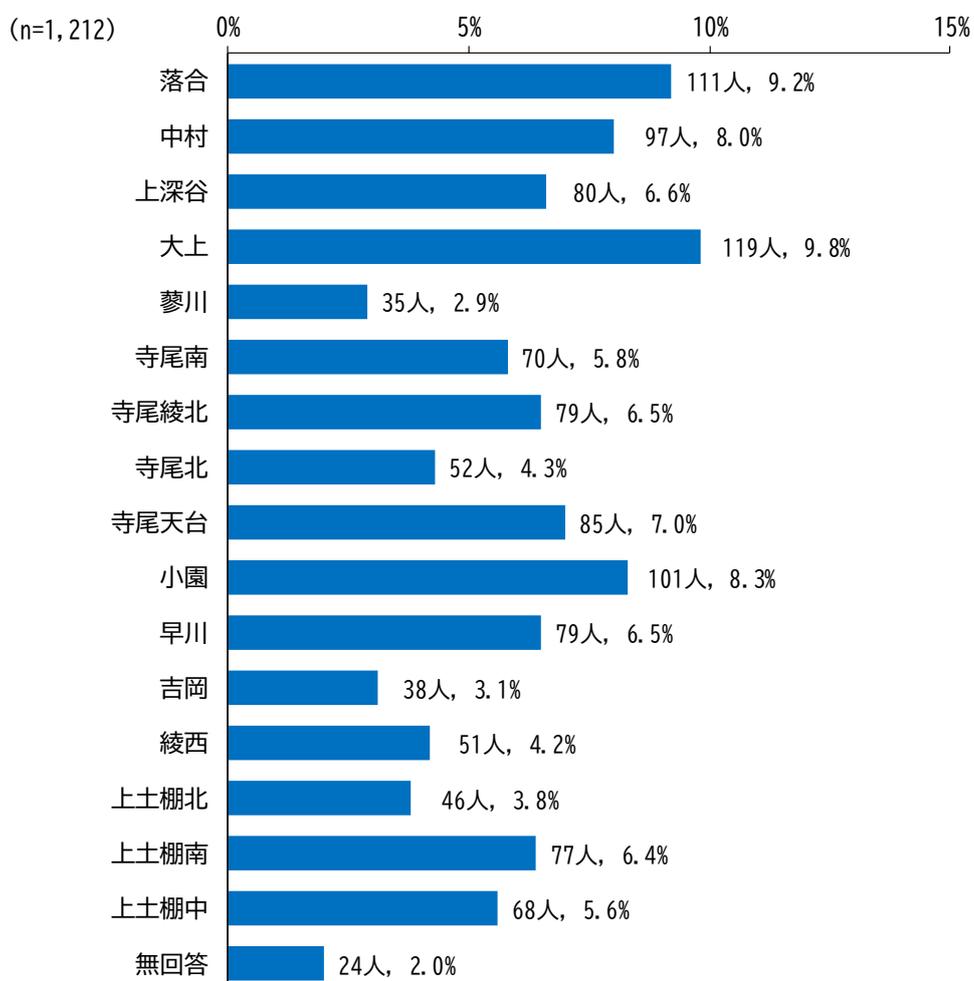
【居住年数】



【家族構成】



【居住地域】



II 調査結果概要（満足度・重要度）

1 取組に対する満足度について

取組に対する「満足度（「満足」と「やや満足」の合計）」は、35 施策のうち 9 施策で 7 割を超え、うち 2 施策は 8 割を超えた。また、6 割未満であったのは 35 施策のうち 10 施策、このうち 5 割未満は 1 施策であった。

「満足度」上位 5 施策	割合(%)
【施策 5】健康づくり	80.9
【施策 30】資源の利活用	80.3
【施策 12】防犯対策	75.6
【施策 6】地域医療	75.1
【施策 29】環境負荷の低減	74.3

「満足度」下位 5 施策	割合(%)
【施策 1】地域で支え合う福祉活動	49.4
【施策 33】人権擁護、平和活動	51.3
【施策 31】コミュニティづくり	52.2
【施策 26】生涯学習	54.1
【施策 20】工業振興、企業誘致	55.7

前回(H29)調査では、「取組の効果」として「満足（妥当）」、「やりすぎ（必要以上の効果）」、「もっとやるべき（効果不十分）」、「取組を知らない」の 4 つの選択肢で実施していることから、数値での比較は適当ではないと考え、「満足（妥当）」と評価した割合の順位で比較した。

前回調査と比較して順位が大きく下降（10 位以上）した施策は下記 4 施策であった。

順位が大きく下降（10 位以上）した施策	今回順位	H29 順位
【施策 7】スポーツ	28	6
【施策 1】地域で支え合う福祉活動	35	14
【施策 31】コミュニティづくり	33	13
【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動	20	9

前回調査と比較して順位が大きく上昇（10 位以上）した施策は下記 7 施策であった。

順位が大きく上昇（10 位以上）した施策	今回順位	H29 順位
【施策 29】環境負荷の低減	5	35
【施策 23】農業振興、農地保全	15	33
【施策 12】防犯対策	3	16
【施策 4】社会保障	10	22
【施策 24】学校教育	16	28
【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク	7	19 ※1
【施策 19】下水道、河川	11	21 ※2

※1：H29 は「交通事故のない安全なまちづくり」19 位、「利便性に富んだ道路ネットワークづくり」30 位。

※2：H29 の「水辺環境の整備」との比較で見たものであり、「下水道の整備と管理」との比較では 3 位から 11 位へと順位を下げている。

【取組に対する満足度／前回調査との比較】

順位	施策名	割合(%)	H29 順位
1	【施策5】健康づくり	80.9	2
2	【施策30】資源の利活用	80.3	1
3	【施策12】防犯対策	75.6	16
4	【施策6】地域医療	75.1	8
5	【施策29】環境負荷の低減	74.3	35
6	【施策10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	73.5	7
7	【施策13】交通安全対策、道路ネットワーク ^(注1)	72.3	19 30
8	【施策28】みどりの保全、生活環境の保全 ^(注2)	71.8	5 11
9	【施策11】火災予防と消防力	71.6	4
10	【施策4】社会保障	69.6	22
11	【施策19】下水道、河川 ^(注3)	69.1	3 21
12	【施策18】公園	67.9	12
13	【施策9】青少年健全育成	66.1	19
14	【施策34】効果的、効率的な行財政経営、ICTの利活用 ^(注4)	63.0	-
15	【施策23】農業振興、農地保全	62.5	33
16	【施策24】学校教育	62.4	28
17	【施策15】基地対策、基地との新たな関わり	62.1	25
18	【施策3】障がい者の自立と社会参加	61.6	17
19	【施策25】学校教育環境	61.5	10
20	【施策2】高齢者福祉と社会参加	61.1	17
20	【施策22】商業振興、観光振興	61.1	27
20	【施策27】文化・芸術、文化財の保護活動	61.1	9
23	【施策14】市民相談	60.8	14
24	【施策17】住宅、景観	60.7	31
25	【施策16】公共交通ネットワーク	60.6	26
26	【施策8】子育て支援、保育環境	59.4	24
27	【施策32】多文化共生 ^(注5)	59.3	34
28	【施策7】スポーツ	57.7	6
29	【施策35】公共施設マネジメント ^(注6)	56.8	-
30	【施策21】労働環境	56.7	32
31	【施策20】工業振興、企業誘致	55.7	36
32	【施策26】生涯学習	54.1	28
33	【施策31】コミュニティづくり	52.2	13
34	【施策33】人権擁護、平和活動 ^(注5)	51.3	34
35	【施策1】地域で支え合う福祉活動	49.4	14
満足度平均		64.0	

(注1)【施策13】交通安全対策、道路ネットワーク：H29調査では「交通事故のない安全なまちづくり」と「利便性に富んだ道路ネットワークづくり」で実施。

(注2)【施策28】みどりの保全、生活環境の保全：H29調査では「環境美化の充実」と「緑の保全、創出、育成」で実施。

(注3)【施策19】下水道、河川：H29調査では「下水道の整備と管理」と「水辺環境の整備」で実施。

(注4)【施策34】効果的、効率的な行財政経営、ICTの利活用：H29調査では実施していない。

(注5)【施策32】多文化共生・【施策33】人権擁護、平和活動：H29調査では「国際化・国際平和の促進、人権擁護のまちづくり」で実施。

(注6)【施策35】公共施設マネジメント：H29調査では実施していない。

満足度を若年層（10～30歳代）・中年層（40・50歳代）・高年層（60歳以上）の年齢層別に見ると、満足度の平均は高年層（65.0%）が最も高く、若年層（61.4%）が最も低かった。また、満足度が50%を下回った施策は、高年層はゼロであったのに対し、中年層では2施策、若年層では4施策であった。

【取組に対する満足度／年齢層別】

単位：%

順位	施策名	全体	若年層	中年層	高年層
1	【施策5】健康づくり	80.9	73.6	79.4	84.6
2	【施策30】資源の利活用	80.3	75.6	79.1	83.4
3	【施策12】防犯対策	75.6	71.6	75.6	77.2
4	【施策6】地域医療	75.1	72.1	72.6	77.9
5	【施策29】環境負荷の低減	74.3	70.6	74.9	76.0
6	【施策10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	73.5	72.6	71.9	75.2
7	【施策13】交通安全対策、道路ネットワーク	72.3	69.7	71.6	73.8
8	【施策28】みどりの保全、生活環境の保全	71.8	66.2	71.4	74.7
9	【施策11】火災予防と消防力	71.6	67.7	69.9	74.2
10	【施策4】社会保障	69.6	61.7	70.9	71.3
11	【施策19】下水道、河川	69.1	65.2	68.9	70.5
12	【施策18】公園	67.9	67.2	66.9	68.6
13	【施策9】青少年健全育成	66.1	69.2	67.4	64.3
14	【施策34】効果的、効率的な行財政経営、ICTの利活用	63.0	64.7	66.4	60.1
15	【施策23】農業振興、農地保全	62.5	59.2	65.2	61.7
16	【施策24】学校教育	62.4	60.2	63.4	62.4
17	【施策15】基地対策、基地との新たな関わり	62.1	61.2	60.4	63.6
18	【施策3】障がい者の自立と社会参加	61.6	64.2	60.7	61.2
19	【施策25】学校教育環境	61.5	60.7	64.2	60.1
20	【施策2】高齢者福祉と社会参加	61.1	59.7	61.2	61.6
20	【施策22】商業振興、観光振興	61.1	58.2	63.2	60.4
20	【施策27】文化・芸術、文化財の保護活動	61.1	51.2	59.2	65.6
23	【施策14】市民相談	60.8	55.2	61.4	61.9
24	【施策17】住宅、景観	60.7	63.2	58.2	61.2
25	【施策16】公共交通ネットワーク	60.6	56.7	59.7	62.8
26	【施策8】子育て支援、保育環境	59.4	56.7	60.2	59.6
27	【施策32】多文化共生	59.3	61.2	62.2	56.9
28	【施策7】スポーツ	57.7	55.7	58.7	57.6
29	【施策35】公共施設マネジメント	56.8	56.2	57.0	56.9
30	【施策21】労働環境	56.7	56.2	57.2	56.2
31	【施策20】工業振興、企業誘致	55.7	52.7	57.7	55.0
32	【施策26】生涯学習	54.1	48.8	55.5	54.9
33	【施策31】コミュニティづくり	52.2	44.3	48.3	57.7
34	【施策33】人権擁護、平和活動	51.3	49.3	51.0	52.3
35	【施策1】地域で支え合う福祉活動	49.4	48.8	45.3	52.5
	満足度平均	64.0	61.4	63.9	65.0

注) 濃い網掛け／白抜き文字…満足度80%以上、淡い網掛け…満足度50%未満

満足度を定住意識別に見ると、満足度の平均は「定住」意向で 70.0%であったのに対し、「転出」意向では 47.5%と 22.5 ポイント低かった。また、「定住」意向と「転出」意向で満足度の差が 25 ポイント以上の施策は 12 施策あり、そのうち「地域医療」、「基地対策、基地との新たな関わり」、「公共交通ネットワーク」の 3 施策は「転出」意向の方が満足度が 30 ポイント以上低かった。

【取組に対する満足度／定住意識別】

単位：%

順位	施策名	全体	定住	転出	差分
1	【施策 5】健康づくり	80.9	85.6	67.5	18.1
2	【施策 30】資源の利活用	80.3	85.9	63.2	22.7
3	【施策 12】防犯対策	75.6	81.3	60.5	20.8
4	【施策 6】地域医療	75.1	81.1	50.0	31.1
5	【施策 29】環境負荷の低減	74.3	80.4	55.3	25.1
6	【施策 10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	73.5	78.8	53.5	25.3
7	【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク	72.3	77.7	58.8	18.9
8	【施策 28】みどりの保全、生活環境の保全	71.8	78.3	54.4	23.9
9	【施策 11】火災予防と消防力	71.6	77.3	60.5	16.8
10	【施策 4】社会保障	69.6	74.8	50.9	23.9
11	【施策 19】下水道、河川	69.1	74.9	58.8	16.1
12	【施策 18】公園	67.9	74.9	50.0	24.9
13	【施策 9】青少年健全育成	66.1	71.1	50.9	20.2
14	【施策 34】効果的、効率的な行財政経営、I C T の利活用	63.0	69.4	55.3	14.1
15	【施策 23】農業振興、農地保全	62.5	68.0	49.1	18.9
16	【施策 24】学校教育	62.4	68.1	50.9	17.2
17	【施策 15】基地対策、基地との新たな関わり	62.1	69.7	39.5	30.2
18	【施策 3】障がい者の自立と社会参加	61.6	66.1	49.1	17.0
19	【施策 25】学校教育環境	61.5	67.3	44.7	22.6
20	【施策 2】高齢者福祉と社会参加	61.1	65.4	50.0	15.4
20	【施策 22】商業振興、観光振興	61.1	68.5	43.0	25.5
20	【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動	61.1	68.2	41.2	27.0
23	【施策 14】市民相談	60.8	67.1	42.1	25.0
24	【施策 17】住宅、景観	60.7	68.0	42.1	25.9
25	【施策 16】公共交通ネットワーク	60.6	67.7	37.7	30.0
26	【施策 8】子育て支援、保育環境	59.4	65.5	36.8	28.7
27	【施策 32】多文化共生	59.3	63.8	50.9	12.9
28	【施策 7】スポーツ	57.7	63.9	37.7	26.2
29	【施策 35】公共施設マネジメント	56.8	64.6	42.1	22.5
30	【施策 21】労働環境	56.7	62.9	38.6	24.3
31	【施策 20】工業振興、企業誘致	55.7	60.5	43.9	16.6
32	【施策 26】生涯学習	54.1	60.4	37.7	22.7
33	【施策 31】コミュニティづくり	52.2	60.0	33.3	26.7
34	【施策 33】人権擁護、平和活動	51.3	58.1	34.2	23.9
35	【施策 1】地域で支え合う福祉活動	49.4	54.0	29.8	24.2
満足度平均		64.0	70.0	47.5	

注) 濃い網掛け／白抜き文字…満足度の差が 30 ポイント以上、淡い網掛け…満足度の差が 25 ポイント以上

2 取組の重要度について

取組の重要度についての回答に評価点を与えて 35 施策に順位をつけた。
重要度については、以下のように各回答に評価点を与えてスコアを算出している。

※重要度スコアの算出方法

各施策の重要度評価の回答が「重要である」場合+4点、「やや重要である」場合+3点、「あまり重要でない」場合+2点、「重要でない」場合+1点として、全ての回答を得点化し、その平均値を算出した。スコアは+1点から+4点の範囲で数値が算出される。なお、「わからない」と無回答は母数から除外した。

スコアの全体平均は 3.518 であり、35 施策のうち、平均スコアを上回ったのは 19 施策、平均を下回ったのは 16 施策であった。

「重要度」上位5施策	スコア
【施策 10】 防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	3.792
【施策 6】 地域医療	3.745
【施策 30】 資源の利活用	3.731
【施策 12】 防犯対策	3.717
【施策 8】 子育て支援、保育環境	3.715

「重要度」下位5施策	スコア
【施策 33】 人権擁護、平和活動	3.188
【施策 22】 商業振興、観光振興	3.222
【施策 7】 スポーツ	3.225
【施策 31】 コミュニティづくり	3.232
【施策 27】 文化・芸術、文化財の保護活動	3.248

前回(H29)調査では、「重要である」、「やや重要である」、「あまり重要でない」、「重要でない」の4つの選択肢で実施し、また取組を「知らない」場合は重要度について聴取していないことから、数値での比較は適当ではないと考え、重要度スコアの順位で比較した。

前回調査と比較して順位が大きく下降（10位以上）した施策は下記2施策であった。

順位が大きく下降（10位以上）した施策	今回順位	H29順位
【施策 24】 学校教育	25	14
【施策 11】 火災予防と消防力	12	2

前回調査と比較して順位が大きく上昇（10位以上）した施策は下記3施策であった。

順位が大きく上昇（10位以上）した施策	今回順位	H29順位
【施策 29】 環境負荷の低減	13	32
【施策 19】 下水道、河川	9	25 ※1
【施策 13】 交通安全対策、道路ネットワーク	7	21 ※2

※1：H29の「水辺環境の整備」との比較で見たものであり、「下水道の整備と管理」との比較では8位から9位へと順位を下げている。

※2：H29の「利便性に富んだ道路ネットワークづくり」との比較で見たものであり、「交通事故のない安全なまちづくり」との比較では1位から7位へと順位を下げている。

【重要度スコア／前回調査との比較】

※「わからない」と無回答を除いているため各施策の回答母数は異なる。

順位	施策名	スコア	H29 順位
1	【施策 10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	3.792	3
2	【施策 6】地域医療	3.745	4
3	【施策 30】資源の利活用	3.731	5
4	【施策 12】防犯対策	3.717	7
5	【施策 8】子育て支援、保育環境	3.715	6
6	【施策 5】健康づくり	3.712	10
7	【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク (注1)	3.678	1 21
8	【施策 9】青少年健全育成	3.657	15
9	【施策 19】下水道、河川 (注2)	3.647	8 25
10	【施策 16】公共交通ネットワーク	3.637	17
11	【施策 3】障がい者の自立と社会参加	3.635	13
12	【施策 11】火災予防と消防力	3.631	2
13	【施策 29】環境負荷の低減	3.607	32
14	【施策 2】高齢者福祉と社会参加	3.596	10
15	【施策 15】基地対策、基地との新たな関わり	3.581	19
16	【施策 25】学校教育環境	3.573	9
17	【施策 20】工業振興、企業誘致	3.564	18
18	【施策 4】社会保障	3.562	12
19	【施策 34】効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用 (注3)	3.529	-
20	【施策 21】労働環境	3.517	20
21	【施策 1】地域で支え合う福祉活動	3.509	16
22	【施策 35】公共施設マネジメント (注4)	3.507	-
23	【施策 14】市民相談	3.490	24
24	【施策 23】農業振興、農地保全	3.476	23
25	【施策 24】学校教育	3.442	14
26	【施策 28】みどりの保全、生活環境の保全 (注5)	3.424	22 33
27	【施策 32】多文化共生 (注6)	3.395	36
28	【施策 17】住宅、景観	3.383	26
29	【施策 18】公園	3.299	27
30	【施策 26】生涯学習	3.260	29
31	【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動	3.248	34
32	【施策 31】コミュニティづくり	3.232	30
33	【施策 7】スポーツ	3.225	31
34	【施策 22】商業振興、観光振興	3.222	28
35	【施策 33】人権擁護、平和活動 (注6)	3.188	36
重要度スコア平均		3.518	

(注1)【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク：H29 調査では「交通事故のない安全なまちづくり」と「利便性に富んだ道路ネットワークづくり」で実施。

(注2)【施策 19】下水道、河川：H29 調査では「下水道の整備と管理」と「水辺環境の整備」で実施。

(注3)【施策 34】効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用：H29 調査では実施していない。

(注4)【施策 35】公共施設マネジメント：H29 調査では実施していない。

(注5)【施策 28】みどりの保全、生活環境の保全：H29 調査では「環境美化の充実」と「緑の保全、創出、育成」で実施。

(注6)【施策 32】多文化共生・【施策 33】人権擁護、平和活動：H29 調査では「国際化・国際平和の促進、人権擁護のまちづくり」で実施。

3 重要度と満足度のクロス分析

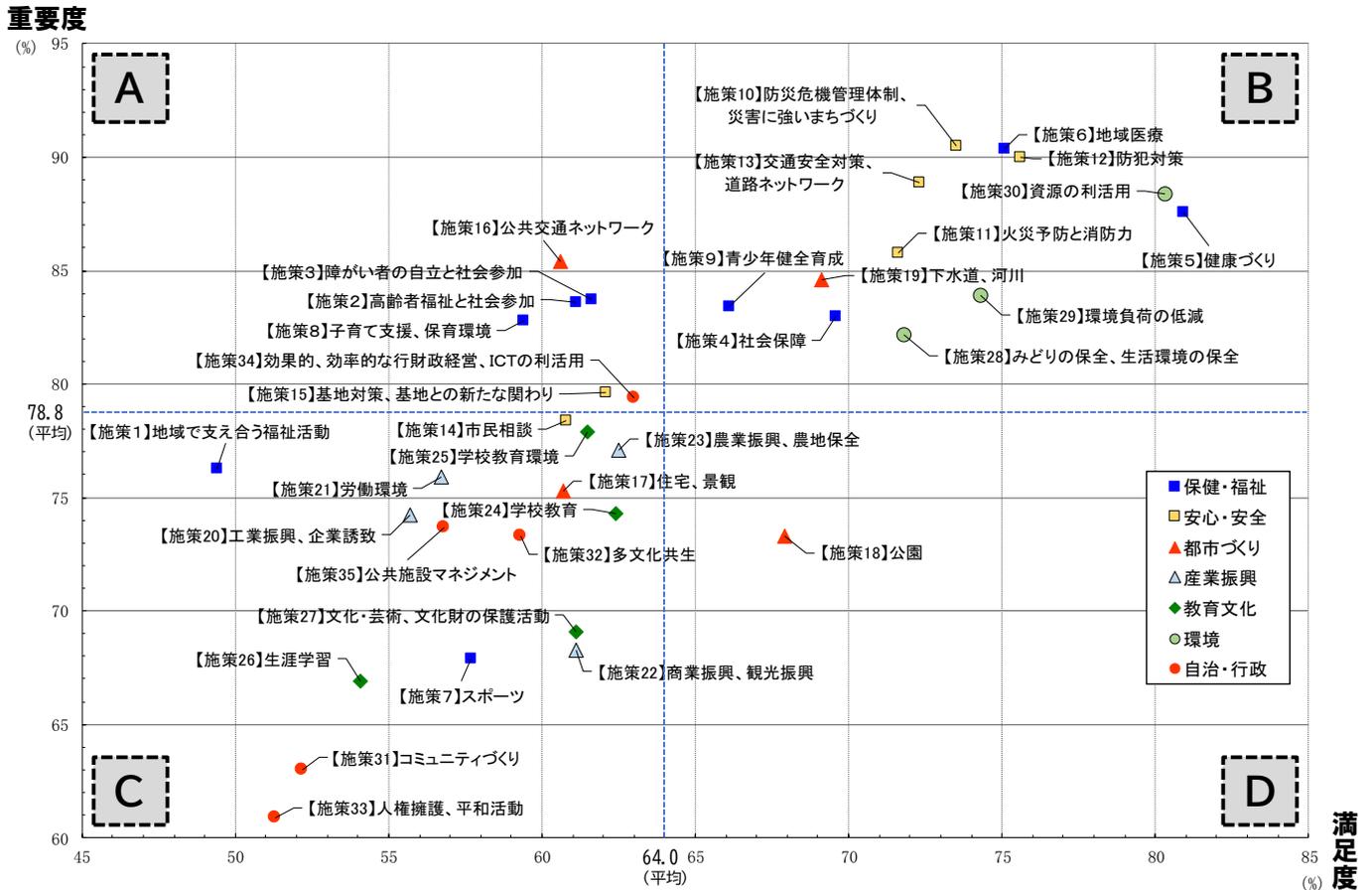
市民から見た施策の位置づけを把握するために、各施策に対する重要度（「重要である」と「やや重要である」の合計）と満足度（「満足」と「やや満足」の合計）の2つの指標を用いた。

単位：%

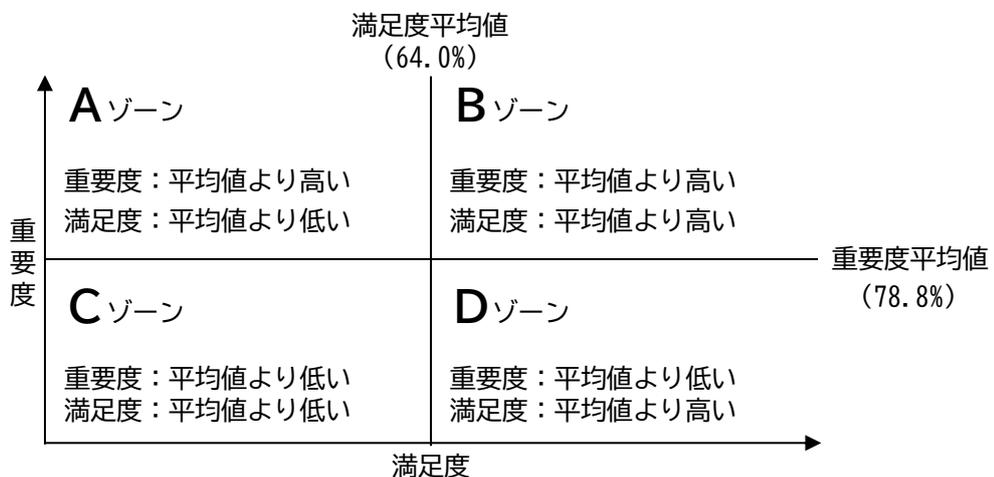
施策名	重要度	満足度
【施策 1】 地域で支え合う福祉活動	76.3	49.4
【施策 2】 高齢者福祉と社会参加	83.6	61.1
【施策 3】 障がい者の自立と社会参加	83.7	61.6
【施策 4】 社会保障	83.0	69.6
【施策 5】 健康づくり	87.6	80.9
【施策 6】 地域医療	90.4	75.1
【施策 7】 スポーツ	67.9	57.7
【施策 8】 子育て支援、保育環境	82.8	59.4
【施策 9】 青少年健全育成	83.4	66.1
【施策 10】 防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	90.5	73.5
【施策 11】 火災予防と消防力	85.8	71.6
【施策 12】 防犯対策	90.0	75.6
【施策 13】 交通安全対策、道路ネットワーク	88.9	72.3
【施策 14】 市民相談	78.4	60.8
【施策 15】 基地対策、基地との新たな関わり	79.6	62.1
【施策 16】 公共交通ネットワーク	85.4	60.6
【施策 17】 住宅、景観	75.3	60.7
【施策 18】 公園	73.3	67.9
【施策 19】 下水道、河川	84.6	69.1
【施策 20】 工業振興、企業誘致	74.2	55.7
【施策 21】 労働環境	75.9	56.7
【施策 22】 商業振興、観光振興	68.3	61.1
【施策 23】 農業振興、農地保全	77.1	62.5
【施策 24】 学校教育	74.3	62.4
【施策 25】 学校教育環境	77.9	61.5
【施策 26】 生涯学習	66.9	54.1
【施策 27】 文化・芸術、文化財の保護活動	69.1	61.1
【施策 28】 みどりの保全、生活環境の保全	82.2	71.8
【施策 29】 環境負荷の低減	83.9	74.3
【施策 30】 資源の利活用	88.4	80.3
【施策 31】 コミュニティづくり	63.0	52.2
【施策 32】 多文化共生	73.3	59.3
【施策 33】 人権擁護、平和活動	60.9	51.3
【施策 34】 効果的、効率的な行財政経営、ICTの利活用	79.4	63.0
【施策 35】 公共施設マネジメント	73.7	56.8

重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、35 施策の回答結果をプロットした。

重要度・満足度のプロット図



35 施策の重要度と満足度それぞれの平均値（重要度平均値 78.8%、満足度平均値 64.0%）によって分けられた4つのグループについて、下記のように捉えることができる。



Aゾーン：重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い施策【重点改善施策】

市民は重要施策であると認識しており、満足度を高めていく必要があることから、従来の施策の取組方向について改善を検討し、強化していく必要がある。

- | | |
|---------|-----------------------|
| 【施策 2】 | 高齢者福祉と社会参加 |
| 【施策 3】 | 障がい者の自立と社会参加 |
| 【施策 8】 | 子育て支援、保育環境 |
| 【施策 15】 | 基地対策、基地との新たな関わり |
| 【施策 16】 | 公共交通ネットワーク |
| 【施策 34】 | 効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用 |

Bゾーン：重要度、満足度ともに平均値より高い施策【重点維持施策】

市民は重要施策であると認識しており、現状にある程度満足しているが、今後も現在の水準を維持、またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

- | | |
|---------|---------------------|
| 【施策 4】 | 社会保障 |
| 【施策 5】 | 健康づくり |
| 【施策 6】 | 地域医療 |
| 【施策 9】 | 青少年健全育成 |
| 【施策 10】 | 防災危機管理体制、災害に強いまちづくり |
| 【施策 11】 | 火災予防と消防力 |
| 【施策 12】 | 防犯対策 |
| 【施策 13】 | 交通安全対策、道路ネットワーク |
| 【施策 19】 | 下水道、河川 |
| 【施策 28】 | みどりの保全、生活環境の保全 |
| 【施策 29】 | 環境負荷の低減 |
| 【施策 30】 | 資源の利活用 |

Cゾーン：重要度、満足度ともに平均値より低い施策【改善・検討施策】

市民は重要性を認知しておらず、現状では満足もしていないことから、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

- | | |
|---------|----------------|
| 【施策 1】 | 地域で支え合う福祉活動 |
| 【施策 7】 | スポーツ |
| 【施策 14】 | 市民相談 |
| 【施策 17】 | 住宅、景観 |
| 【施策 20】 | 工業振興、企業誘致 |
| 【施策 21】 | 労働環境 |
| 【施策 22】 | 商業振興、観光振興 |
| 【施策 23】 | 農業振興、農地保全 |
| 【施策 24】 | 学校教育 |
| 【施策 25】 | 学校教育環境 |
| 【施策 26】 | 生涯学習 |
| 【施策 27】 | 文化・芸術、文化財の保護活用 |
| 【施策 31】 | コミュニティづくり |
| 【施策 32】 | 多文化共生 |
| 【施策 33】 | 人権擁護、平和活動 |
| 【施策 35】 | 公共施設マネジメント |

Dゾーン重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高い項目【維持施策】

市民は重要であるとは認識していないが、取組には満足していることから、現在の水準を維持できるように着実に取組を推進していくとともに、施策の重要性についてさらにアピールしていく必要がある。

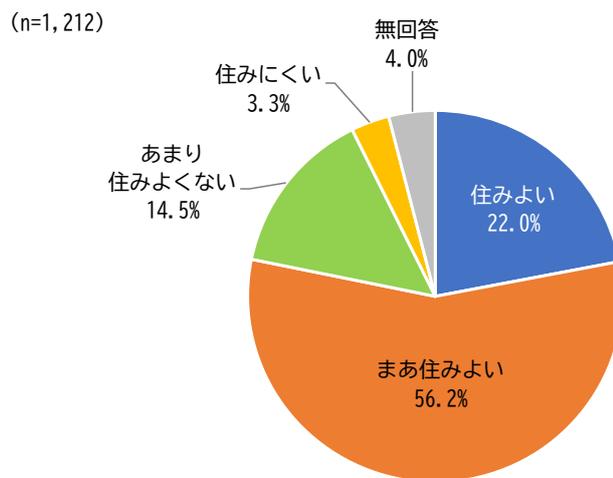
- | | |
|---------|----|
| 【施策 18】 | 公園 |
|---------|----|

Ⅲ 調査結果（市民意識）

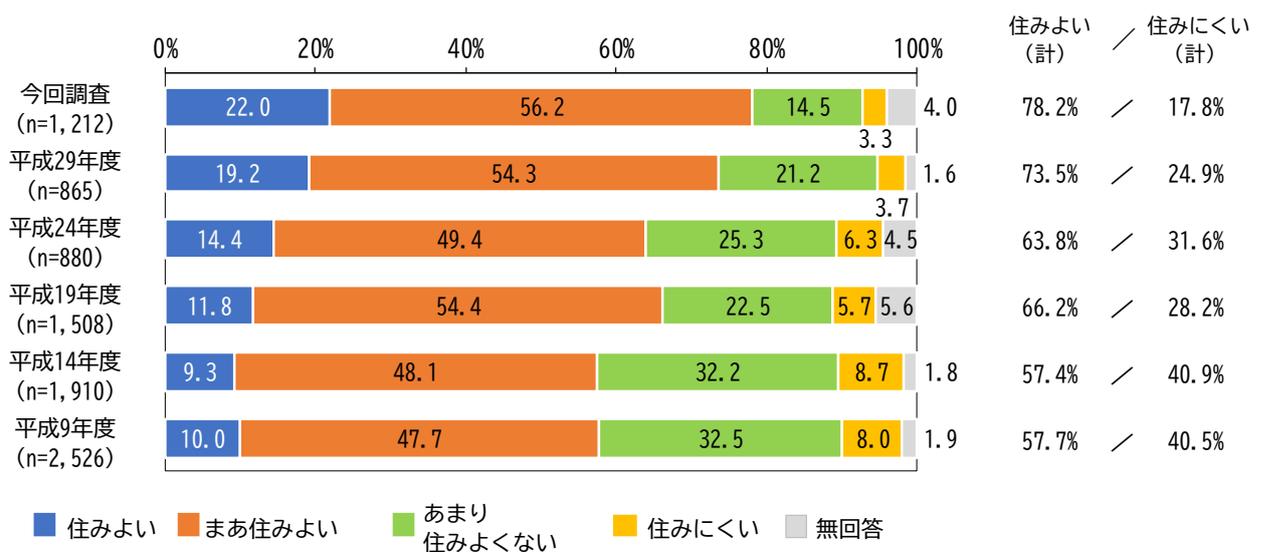
1 居留意識

綾瀬市の住み心地は、「まあ住みよい」が 56.2%で最も多く、次いで「住みよい」が 22.0%、「あまり住みよくない」が 14.5%「住みにくい」が 3.3%と続いている。

「住みよい」と「まあ住みよい」を合計した【住みよい（計）】は 78.2%で、全体のほぼ8割を占めており、「あまり住みよくない」と「住みにくい」を合計した【住みにくい（計）】を 60.4 ポイント上回っている。



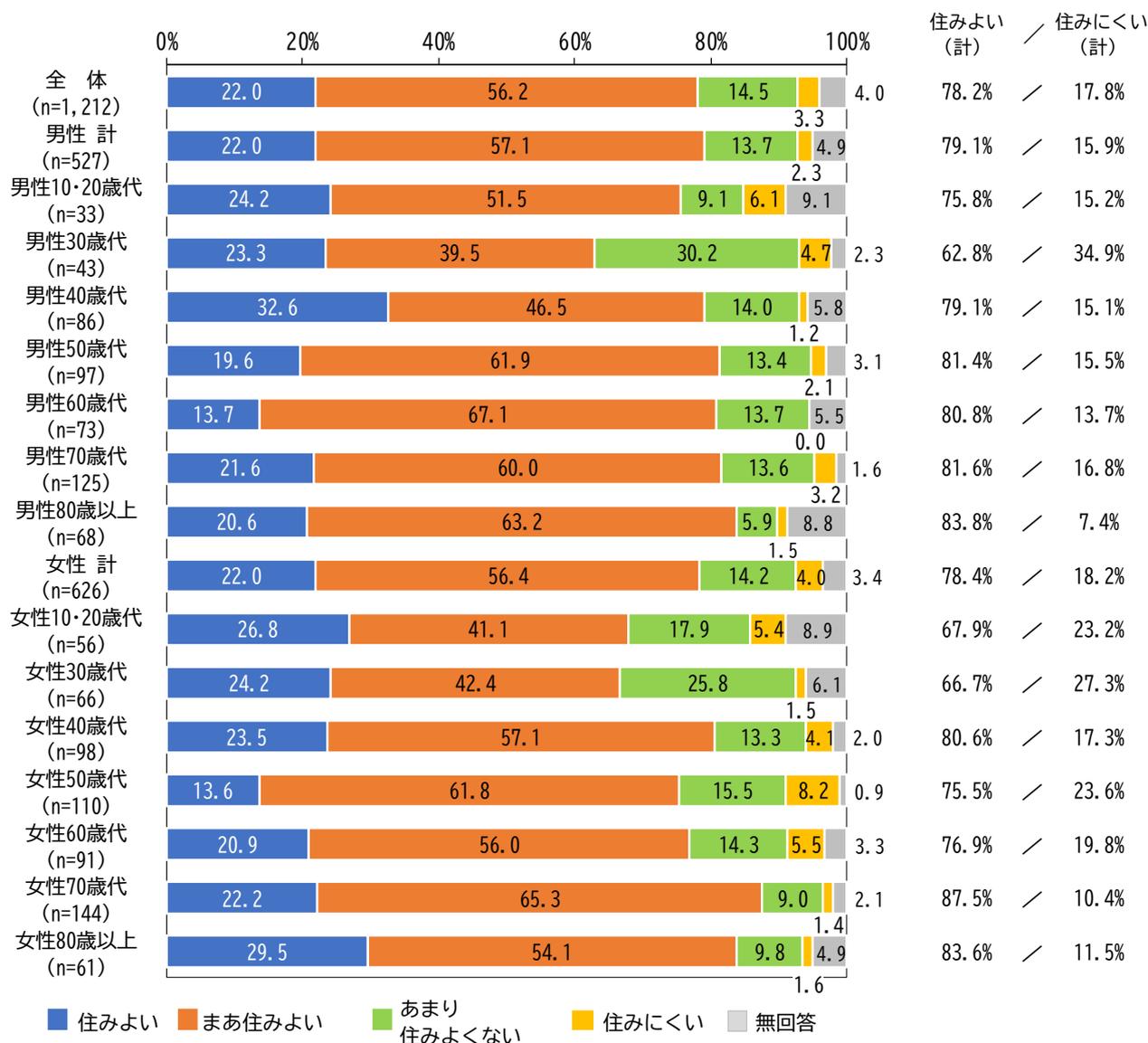
経年変化を見ると、【住みよい（計）】の割合は平成 24 年度にいったん低下したものの、その後は上昇傾向となっている。【住みにくい（計）】は今回初めて2割を下回った。



性別、年齢別に見ると、【住みよい（計）】は男性が79.1%、女性が78.4%となっている。

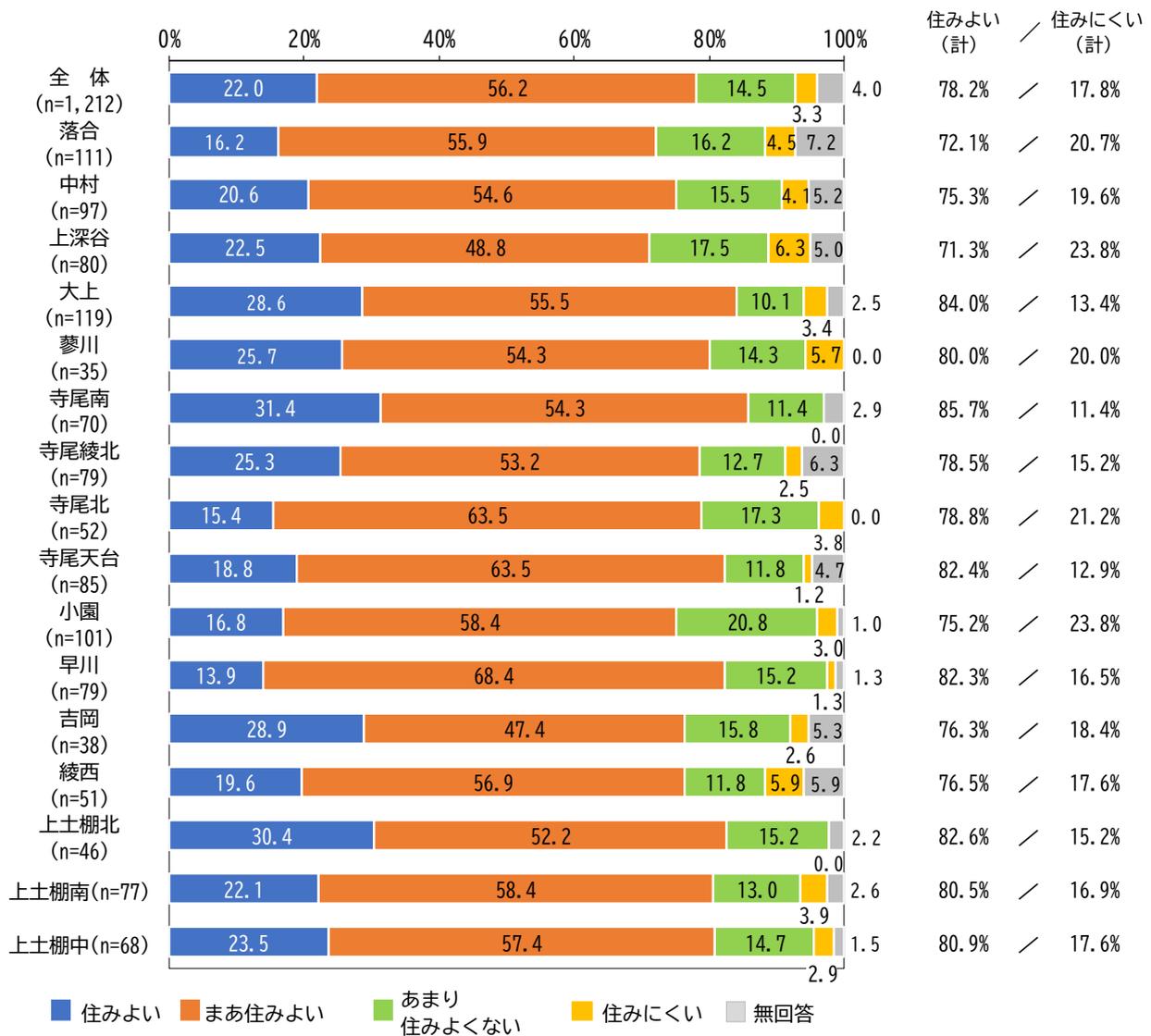
男性では、【住みよい（計）】は50歳代以上で8割を超えており、特に「80歳以上」で83.8%と最も高くなっている。女性では「40歳代」「70歳代」「80歳以上」で8割を超えており、特に「70歳代」で87.5%と最も高くなっている。

一方、【住みにくい（計）】は、男性の「30歳代」で34.9%と3割を超えて最も高い。



地域別に見ると、【住みよい（計）】は「寺尾南」が 85.7%で最も高く、次いで「大上」が 84.0%、「上土棚北」が 82.6%、「寺尾天台」が 82.4%、「早川」が 82.3%と続き、16 地域中半数の 8 地域で 8 割を超えている。

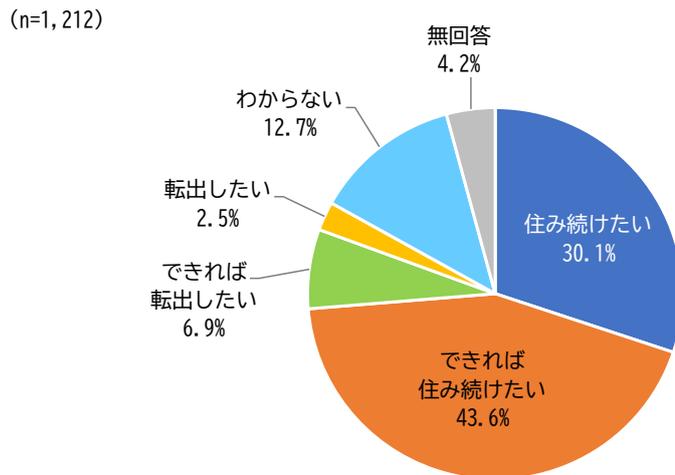
一方、【住みにくい（計）】は「上深谷」と「小園」がともに 23.8%で最も高く、次いで「寺尾北」が 21.2%、「落合」が 20.7%、「蓼川」が 20.0%と、この 5 地域で 2 割を超えている。



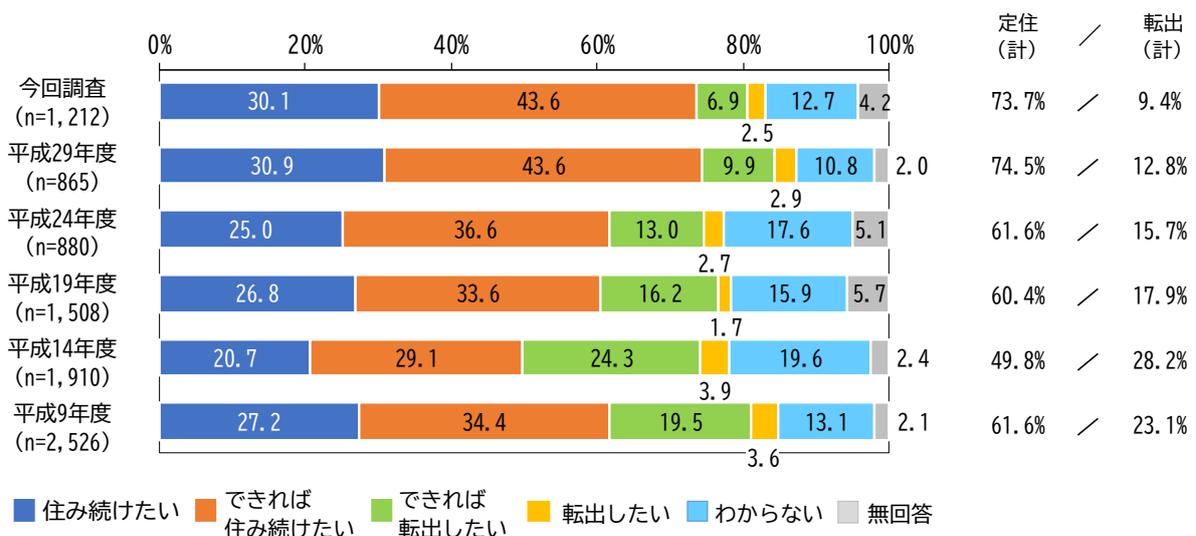
2 定住意識

綾瀬市での定住意識は、「できれば住み続けたい」が43.6%で最も多く、次いで「住み続けたい」が30.1%、「わからない」が12.7%、「できれば転出したい」が6.9%、「転出したい」が2.5%と続いている。

「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合計した【定住（計）】は73.7%で、全体の4分の3近くを占めており、「できれば転出したい」と「転出したい」を合計した【転出（計）】を64.3ポイント上回っている。



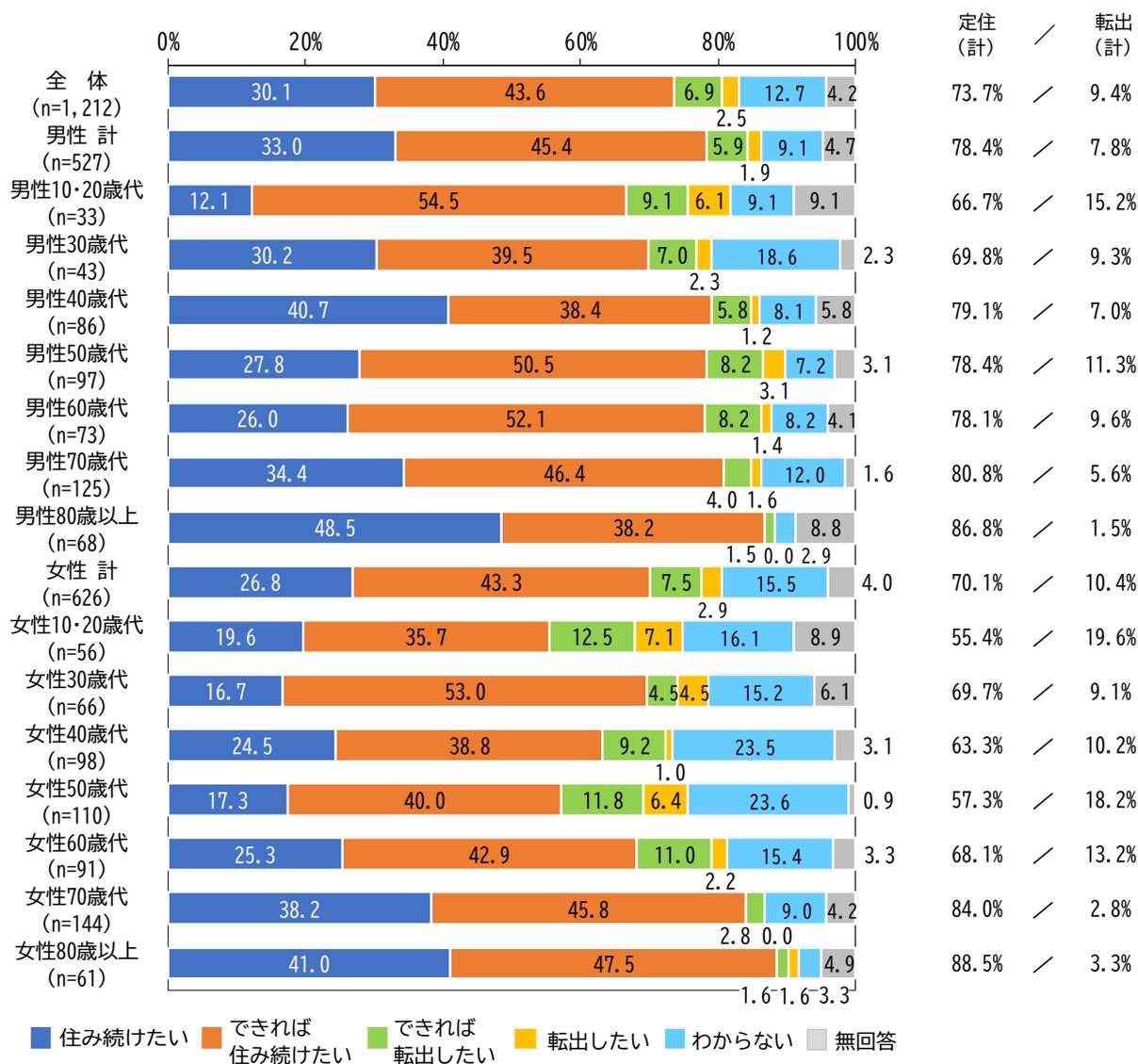
経年変化を見ると、【定住（計）】の割合は平成14年度以降上昇傾向であったが、今回は前回とほぼ同程度となった。一方で、【転出（計）】は平成14年度以降低下傾向となっており、今回初めて1割を下回った。



性別、年齢別に見ると、【定住（計）】は男性が78.4%、女性が70.1%となっている。

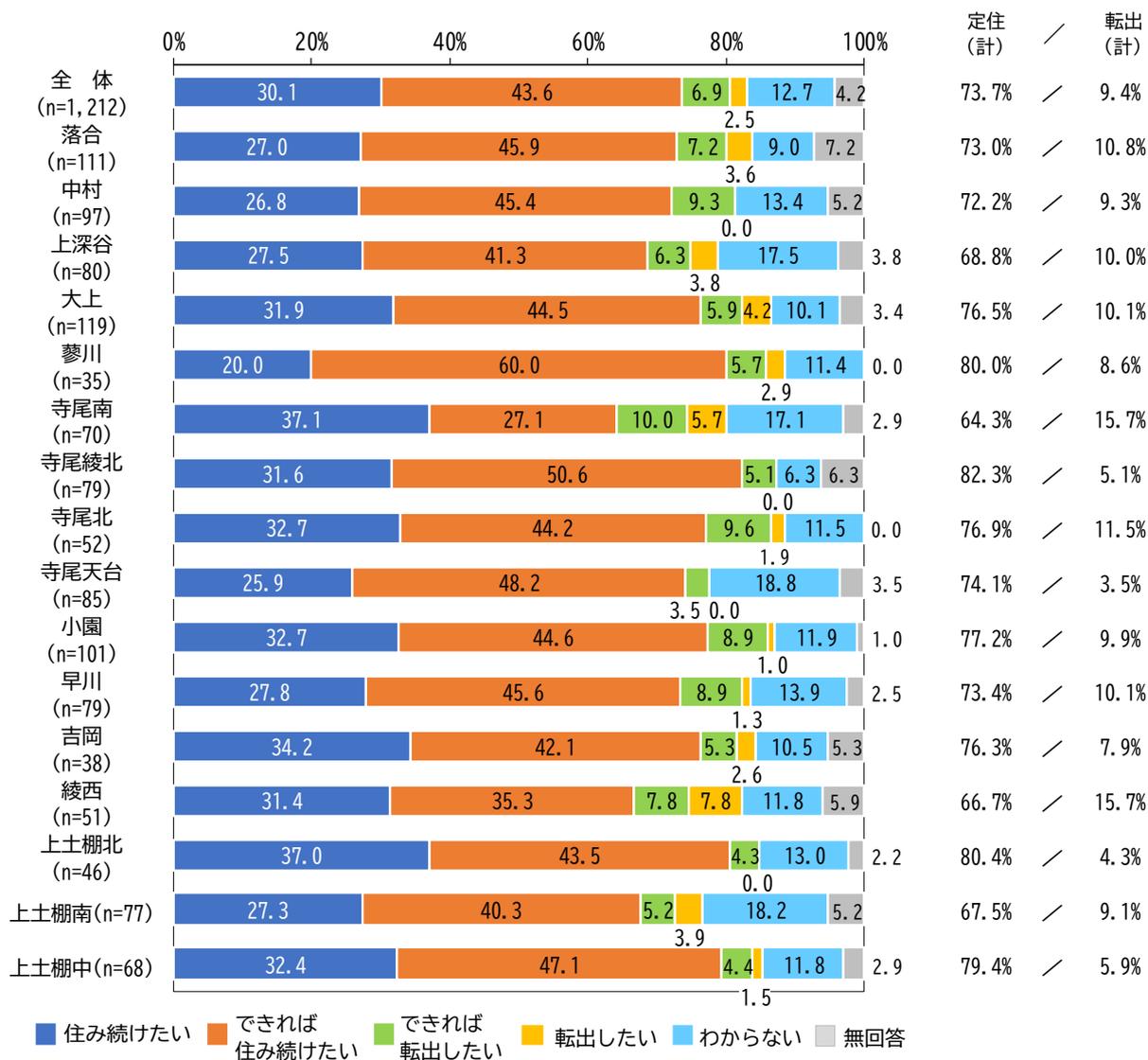
男性では、【定住（計）】は「80歳以上」が86.8%で最も高く、次いで「70歳代」が80.8%となっている。女性では「80歳以上」が88.5%で最も高く、次いで「70歳代」が84.0%となっている。

一方、【転出（計）】は男性では「10・20歳代」が15.2%と最も高く、女性でも「10・20歳代」が19.6%と最も高くなっている。



地域別に見ると、【定住（計）】は「寺尾綾北」が 82.3%で最も高く、次いで「上土棚北」が 80.4%、「蓼川」が 80.0%と、この3地域で8割を超えており、以下「上土棚中」（79.4%）、「小園」（77.2%）、「寺尾北」（76.9%）と続いている。

一方、【転出（計）】は「寺尾南」と「綾西」がともに 15.7%で最も高く、次いで「寺尾北」が 11.5%、「落合」10.8%と続いている。



IV 調査結果の考察

市民意識の調査結果では、綾瀬市の暮らしやすさについては全体のほぼ8割が「住みよい」と回答している。「住みよい」は前回調査（H29）と比較して4.7ポイント上昇しており、平成24年度以降上昇が続いている。また、定住意識については全体の4分の3近くが「定住したい」と回答しており、前回調査とほぼ同じ割合であった。一方で、「転出したい」との回答は平成14年度以降減少が続いており、今回初めて1割を下回った。

35施策については、「満足度」、「重要度」の調査を行った。

満足度評価では、満足度の高かった上位3施策は「健康づくり」、「資源の利活用」、「防犯対策」であり、下位3施策は「地域で支え合う福祉活動」、「人権擁護、平和活動」、「コミュニティづくり」であった。

若年層（10～30歳代）・中年層（40・50歳代）・高年層（60歳以上）の年齢層別に見ると、満足度の平均は高年層（65.0%）が最も高く、若年層（61.4%）が最も低かった。また、満足度が50%を下回った施策は高年層ではゼロであったのに対し、中年層では2施策、若年層では4施策と、低い年齢層ほど多かった。

定住意識別に見ると、満足度の平均は定住意向者で70.0%であったのに対し、転出意向者では47.5%と22.5ポイントの差があった。また、定住意向者と転出意向者で満足度の差が30ポイント以上の施策は、「地域医療」、「基地対策、基地との新たな関わり」、「公共交通ネットワーク」の3施策であった。これらの転出意向者の満足度が低い施策の取組を強化していくことが、定住意向の上昇につながると考えることができる。

満足度評価の「不満」の理由（自由記述）では、「知らなかった」や「PR不足」といった意見が多く見られた。また、満足度評価で「わからない」という回答が多く見られた（35施策の平均26.3%、30%以上が13施策あり、うち2施策は40%以上）のも、取組を知らなかったことが理由となっているケースがあることが予想される。このことから、市民に対し取組について積極的に周知する必要があり、効果的な広報・PR方法の工夫が求められる。

重要度評価では、重要度スコア（8ページ参照）の上位3施策は「防災危機管理体制、災害に強いまちづくり」、「地域医療」、「資源の利活用」であり、下位3施策は「人権擁護、平和活動」、「商業振興、観光振興」、「スポーツ」であった。

「重要度」と「満足度」のクロス分析では、最優先で取り組むべき【重要改善施策】に分類されたのは、「高齢者福祉と社会参加」、「障がい者の自立と社会参加」、「子育て支援、保育環境」、「基地対策、基地との新たな関わり」、「公共交通ネットワーク」、「効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用」の6施策であった。これらは重要度が高いと認識されているものの満足度は相対的に低いことから、満足度を高めていくために施策の取組方向について改善を検討し、強化していく必要がある。

綾瀬市市民満足度調査

概要版

発行日 令和5年1月

編集・発行 綾瀬市 経営企画部 企画課 政策経営担当

〒252-1192 神奈川県綾瀬市早川 550 番地

TEL. 0467-70-5635